

ハンドボール No. 9

Japan
Handball
Association

社会人
 学生
 高専
 高体連
 中体連
 小学生
 県協会

全国大会
 ブロック大会
 都道府県大会
 地区大会

男子
 女子

試合
番号 **県営-男42**

年月日 **2021 年 8 月 19 日 (木)**
 大会名 令和3年度全国高等学校総合体育大会 福井県大会

公式記録用紙

A 駿台甲府高等学校					神戸国際大学附属高等学校										B						
福井県		福井市			福井県営体育館										準々決勝						
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7mTC	A	B							
	11	10		23	19																
7m得点/総数	A		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B		7m得点/総数										
	2/2		1	2	3	1	2	3	1/1												
			1916			1916															
No.	駿台甲府高校					G	W	2	D	DR	No.	神戸国際高校					G	W	2	D	DR
1	保坂 怜志										1 c	上野 俊哉									
2 c	渡邊 雄大					10					2	金川 颯汰					8				
3	飯島 悠太					5					3	東 龍樹									
4	大木 尚					1	1				4	土佐 麟太郎							1		
5	酒井 涼佑					1		1			5	宮本 海里									
6	高橋 慶悟										6	小野 晟直					2				
7	丸山 舞大										7	柴村 春輝									
8	森川 雅美智					1					8	佐孝 明澄									
9	山崎 貴人					3					9	林 輝樹									
10	金子 真虎										10	穴田 航也					3				
11	清水 翔悟					2		1			11	高橋 素晴					3		1		
12	市川 俊喜										12	久保 大樹									
13	平林 奏人										13	小野田 匡陽					3				
14	辻井 奏都										16	大西 和真									
役員A	八田 政史										役員A	高橋 裕稀									
役員B	八田 政久										役員B	向井 勝二									
役員C	廣瀬 鉄生										役員C	北脇 結菜									
役員D											役員D										
A	八田 政史					チーム役員A署名					高橋 裕稀					B					

レフェリー	堀田 侑佑	櫻井 隆光	堀田 侑佑	櫻井 隆光
TD	越田 義昭	庄司 勝三	越田 義昭	庄司 勝三
MO	永春 文義		永春 文義	

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

ハンドボール NO.11

令和3年度全国高等学校総合体育大会
高松宮記念杯第72回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

戦評

開催日	2021年 8月 19日 木曜
会場	福井県営体育館
種別	男子
回戦	準々決勝

	チーム名	総得点	前半	総得点	チーム名
スコア	駿台甲府	23	11-10	19	神戸国際
			後半		
	第1延長		第2延長		7MC
	—		—		—
	—		—		—

※第1延長・第2延長及び7MCの得点は総得点に加算してください。

戦評	前半
	<p>神戸国際のスローオフでスタートすると10番の穴田、13番の小野田の高身長ポストを絡めたOFで先制に成功。ペースをつかむ神戸国際、前半5分を1-4の3点リードを取る。駿台甲府は持ち前の堅守から、9番山崎のシュートで反撃に出ると神戸国際に退場が出た場面で同点に追いつき、一気に逆転。前半18分で9-6とする。たまたずタイムアウトを要求した神戸国際、7人攻撃で反撃の糸口を探る。駿台甲府、2番渡邊が速攻から走り込み強烈なシュートを放つと神戸国際も負けじと9番林、13番小野田のコンビプレーが飛び出した。一気にチームのムードが明るくなった神戸国際はGKの1番上野が好セーブを連発したものの前半は11-10、駿台甲府の1点リードで終えた。</p>
後半	
<p>1点はリードしているもののセーフティリードまで持ち込みたい駿台甲府、5番酒井の俊敏なカットインシュートで得点に成功するも神戸国際、連続得点で試合を振り出しに戻す。そして11番、清水の強烈なミドルシュートがゴールに突き刺さる。その後も6番小野のスカイプレーと豪快なプレーを連発し逆転。取り返したい駿台甲府は3番飯島のシュートで反撃開始、DFでも落ち着きを取り戻すと、1番保坂もファインセーブでチームを支える。その後は互いに1歩も引かない状況が続く。駿台甲府は1人退場の大ピンチを迎えるも無失点で切り抜け勝負あり。最後までチーム一丸で熱いプレーを見せた神戸国際だが一歩及ばず。23-19で駿台甲府が接戦をもぎ取った。</p>	

記入者	丹羽 柊真
-----	-------